

## CVポートで治療を行われる患者さんへ

### ☆ヒューバー針の自己抜針の方法

#### 1. はじめに準備するもの

- ・病院からお渡しするもの



アルコール綿



ヘパリン入り生理食塩水



手袋

- ・ご自分で用意していただくもの



カットバン

- ・空き瓶やタッパーウエアなど(針入れ)
- ・ビニール袋(使用後のインフューザーポンプ入れ)  
(ゴミ入れ)

#### 2. 実際の抜く手順について

- ①インフューザーポンプ内の薬液がなくなり、バルーンがしぼんでいることを確認してください。  
治療開始46時間後であれば少し残っていてもかまいません。

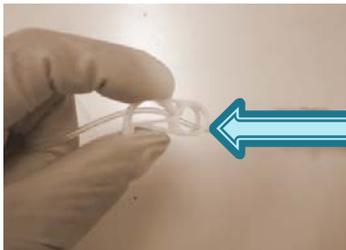
- ②石鹸で手洗い後手袋をします。



③ヘパリン入りの生理食塩水の袋を開け、注射器を取り出します。



④ヒューバー針の手前についているクランプをカチッと音がするまで閉じます。

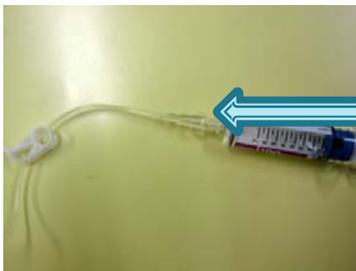


これがクランプです

⑤インフューザーポンプとヒューバー針の接続部分をねじって外します。

⑥酒精綿を袋から取り出しヒューバー針の接続部を酒精綿で消毒します。

⑦ヒューバー針の接続部分にヘパリン入り生理食塩水の注射器を接続します。

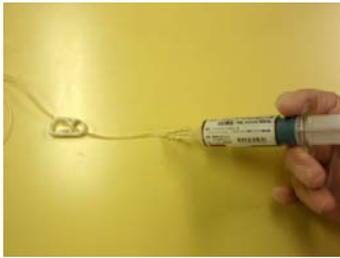


接続した部分をぐっと押し込みます。

⑧クランプのロックを外します。



⑨注射器内のヘパリン入り食塩水を注入します。



注射器の先を下にして立てて注入すると空気が中に入らずできます。

⑩全部注入せず、8～9ml注入したらクランプをロックします。



⑪片手でヒューバー針を固定しながら上側から固定用のフィルムドレッシングをはがします。

⑫利き手の指でヒューバー針の翼を固定した状態で把持部を垂直に「カチッ」と音がするまでしっかりと引きあげ、抜針します。



⑬刺入部の止血の確認と消毒のためアルコール綿でしばらく押さえます。

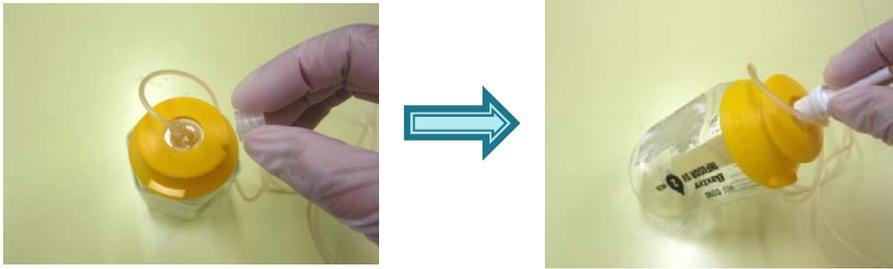
⑭消毒液が乾いたらばんそうこうを貼り終了です。



### 3. 廃棄の仕方について

- ① インフューザーポンプの薬剤注入口とチューブの接続部を合わせねじり閉めた後ビニール袋に入れてください。

こうすることでポンプ内の液が外に漏れることがなくなります。



- ② 抜針後の針は安全装置が働き、飛び出すことは少ないですが念のため空き瓶など蓋付きの固い容器に入れてください。

※使用した消毒綿、注射器、手袋、消毒のスティック、インフューザーポンプはビニール袋に入れ、また針を入れた空き瓶などとともに次回来院される際に外来治療室にご持参ください。